



九月十七日夕刊 (朝刊併せて八頁)

◆ 奥講和提議

公式申込 奥國遂に屈す
奥國は各交戦國及び各中立國に對し講和に就き公式に協議せん事を申込めり

◆ 帝國對チス蹶起 承認回答發表

八月十一日附チエツクノスロヴァク國政府の承認回答を發表せり

◆ 日支軍北進協定

日支軍事協定の趣旨に基き北進某方面に北進せしむるに就き日支軍を更に日支双方の意見合致したる結果に協定の趣旨に

◆ 黑河道尹通牒

黑河道尹は十月十日の翌日の通牒をラヂオエツクノスロヴァク國政府に送りし

◆ 浦鹽戒嚴令施行

浦鹽の戒嚴令は十月十日の翌日の施行せり

◆ 過激派勢力凋落

過激派の勢力は十月十日の翌日の凋落せり

◆ スム兩相哈市行

スムの兩相は十月十日の翌日の哈市に赴きし

◆ 芬蘭王承認要求

芬蘭王の承認要求は十月十日の翌日の要求せり

◆ 露對獨償金發送

露國は十月十日の翌日の獨償金を發送せり

◆ 瑞赤十字團捕縛

瑞赤十字團は十月十日の翌日の捕縛せり

◆ 獨逸國民の苦惱

獨逸國民は十月十日の翌日の苦惱せり

◆ 露獨新條約内容

露獨新條約の内容は十月十日の翌日の内容なり

◆ 交團體承認運動

交團體の承認運動は十月十日の翌日の運動なり

◆ 總就任舉行期

總就任の舉行期は十月十日の翌日の期なり

◆ 段副總統拒絕

段副總統は十月十日の翌日の拒絕せり

◆ 林公使首相訪問

林公使は十月十日の翌日の首相に訪問せり

◆ 定例長官會議

定例長官會議は十月十日の翌日の會議なり

◆ 戰時爲替調查委員會任命

戰時爲替調查委員會は十月十日の翌日の任命なり

◆ 汽船賃引上

汽船賃は十月十日の翌日の引上せり

◆ 列車運轉復舊

列車運轉は十月十日の翌日の復舊せり

◆ 反當り米收低下

反當りの米收は十月十日の翌日の低下せり

◆ 水田面積の擴大

水田面積は十月十日の翌日の擴大せり

◆ 總面積

總面積は十月十日の翌日の面積なり

◆ 聯合會議日程

聯合會議の日程は十月十日の翌日の日程なり

◆ 號外配付

號外配付は十月十日の翌日の配付なり

◆ 米低落傾向馴致

米の低落傾向は十月十日の翌日の馴致せり

◆ 特別輸送

特別輸送は十月十日の翌日の輸送なり

◆ 米低落傾向馴致

米の低落傾向は十月十日の翌日の馴致せり

◆ 特別輸送

特別輸送は十月十日の翌日の輸送なり

◆ 聯合會議日程

聯合會議の日程は十月十日の翌日の日程なり

◆ 號外配付

號外配付は十月十日の翌日の配付なり

◆ 米低落傾向馴致

米の低落傾向は十月十日の翌日の馴致せり

◆ 特別輸送

特別輸送は十月十日の翌日の輸送なり

◆ 聯合會議日程

聯合會議の日程は十月十日の翌日の日程なり

◆ 號外配付

號外配付は十月十日の翌日の配付なり

◆ 米低落傾向馴致

米の低落傾向は十月十日の翌日の馴致せり

◆ 特別輸送

特別輸送は十月十日の翌日の輸送なり

◆ 聯合會議日程

聯合會議の日程は十月十日の翌日の日程なり

◆ 號外配付

號外配付は十月十日の翌日の配付なり

◆ 米低落傾向馴致

米の低落傾向は十月十日の翌日の馴致せり

◆ 特別輸送

特別輸送は十月十日の翌日の輸送なり

◆ 聯合會議日程

聯合會議の日程は十月十日の翌日の日程なり

◆ 號外配付

號外配付は十月十日の翌日の配付なり

◆ 米低落傾向馴致

米の低落傾向は十月十日の翌日の馴致せり

◆ 特別輸送

特別輸送は十月十日の翌日の輸送なり

◆ 聯合會議日程

聯合會議の日程は十月十日の翌日の日程なり

◆ 號外配付

號外配付は十月十日の翌日の配付なり

◆ 米低落傾向馴致

米の低落傾向は十月十日の翌日の馴致せり

嫉視して出來上りたる獎勵規程

耕種水田獎勵章程
 第一條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第二條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第三條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第四條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第五條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第六條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第七條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第八條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第九條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程
 第十條 凡欲墾闢水田者須向該管官廳
 呈請開墾水田獎勵章程

十七八萬人 まんにん

○**倍以上の増給**
 奮發した満鐵會社
(はいてい)
 但高懸きは無關係也
 弊社の振込に纏る銀額増加し、於て下級社員師人の優遇を發案した。同向の優遇法は特に下級者に厚く、上級者に薄くする。

○**朝鮮人生徒に初めて擊劍教授**
 固有の性質を矯めて之を學術的に導く爲に、學校低級生に對して、實地練習場を設け、本邦高等普通學校では田中校長、意圖で劍道教授の實行を考慮中であつたが未だ其時機が到來しなかつたので多くの日子が必要とし(天衣)

東蒙古回教徒は同地方へ敗走して侵入せる過激派軍及び獨

[illegible]

移等へも、振張を圖るの計費な
 こ而して其采蜜鼠は、一ヶ年七割おん

は約五十名であるが主として三菱の高級社員連である。恰も十五日の三菱農務所の公休日なりで一隊社員連は、汽艇に乗じて廣業湖の狩に出掛可成の獲物もあつた。聞く(金三郎)

報日

船舶輕便
土地、宅
特許、
各條例
婆、看護
景品附
關係法
は諸學
以て法

三三三

電氣事業 道路 海河 土工 郵便電信等に関する
屋、諸税一般營業 市場 水産 農林 銀行 鐵業 渡
意匠、版標、實用新案各法遺失事項、恩給、年金等
出版法、著作權、其他遺失規則、埋藏物、醫師、藥劑
婦、藥種業、統他商、持獵規則、關所書式、入學、願書
出、遺失處分、精神病者其他に關する書式に對し
税を摘記して詳細に様式を示したるものにして、卷
入學官吏の受験參考事項及び書式をも網羅したる
件、實業家、教育家、其他代書業者は勿論、各階級

には左記を問置し水相經密に成議
 好なるものに對しては省長公
 條例第三條により情況を省長公
 署に提出し、申請し、農商部によ
 すべし(五)申請して水相の標榜
 獎勵し其成績顯著なるものに對
 しては省公署より農商部獎勵規
 則の手を以て省長公署より農商
 部へ申請し獎勵章を給與すべし(六)
 人々又は其他の團體にて
 荒地開墾水田經營
 なりし成績顯著なるものは省公
 署より農商部規則に照し農商
 部へ申請し獎勵章を給與すべし(七)

農業界に一大革新
 といふべき大變革の形勢を示す
 に至つた。既に朝鮮人の手に俟
 つて農政改革は實に莫大の
 數額を得、農民も思ふ此等事
 態に早急の支那當局者も非た
 ず、手を出さざる處なし、三十
 十甲方面を除くても山田水利の
 自由な處には相當の既成田を早
 作に比し

耕作も容易にして
 日收穫も頗る水田農業は氣
 支那人の生活變起し今日に於い

雲行動に對しても相當の處置
 取らねばならぬ。滿洲水田の如
 きは自給策の一として大いに尊重
 されねばならぬ問題であること
 ても耕作に慣た朝鮮人の手に俟
 なければ理直急進の發展を見る
 は出来ぬ

支那當局の政策を
 嚴密に極力監視に努める事は刻
 の急務である。今日迄磨り磨
 つた羊毛の薔薇を問置し磨なる
 田を造る事は支那國利より論ず
 一日を以て忽忽にすべからざる
 問題である(其ノ六)

本社從軍記者 金谷 眞攝影

るが三十
増に改め
割の増俸
圓以下の
し二百圓
据置かれ
和者の
二員共四
臨時手當
那人側は
の増手當
なく唯目
衡を執る

東

拓と満洲
事とした案を

た。この事である、口

方にては、僧員及
十鐘以上のものは十鐘
先十五鐘以上十二鐘
を行たれ今後は増
のみのみでして以て

に五鐘以下は四
在動加停動を合せて
なり又五鐘以上三
もなりは従來の通り二割

分の目的は

第一精神の修養

此の修養法は要するに
といふ主意であつて一面心を練
身體を鍛へる云々云々の人は性體
でもない云々後には氣血
として氣の變り易き聲があら
からこれ亦好果を得るすれば
習性の漸次改まらに相違な
うと思ふやべからず唯かに見
のであらうと、教誨の方法とし
ては毎週水曜日と曜日の二
日を專用する程に居るが

三圓四五
一俵
如くして
冬季に於
間線府民
北當局官
忠南管内
出輸送を
用を充た
代償

[illegible]

の夥しき
だしく
贈に
袋百個
手を経
開く
玉郡共
平は
溺る
に押し
酒
疎
毒の結
女
泥酔し

[illegible]

日本海

株新

一募 一募 一申 一壹 一申

除險株式會社新株式募集
 額面以上ノ價格ヲ以テ發行スル新株募集規定
 在來資本金壹拾萬圓（六萬千圓ノノ邊大正七年八月十日株
 臨時株主會議ヲ決議シ二萬五千圓（貳拾萬株
 決定シ增加株式拾四萬株ノ內同年九月十日株
 額面ノ現在株主拾萬株ヲ割當テ殘數貳萬株ノ內
 千株ハ左ノ方法ニ依リ公賣ス
 募集規定要項
 集 株 數 壹 萬 貳 千 株
 集 金 額 金 六 拾 萬 圓
 込 價 格 額面以上ノ價格
 口ノ申込株數 拾 株 以 上
 込 證 據 金 二拾金貳圓五拾錢（第一第二）

立石一拓

果上海本日

株新

一募 一募 一申 一壹 一申

除險株式會社新株式募集

額面以上ノ價格ヲ以テ發行スル新株募集規定

臨時株主總會決議(六萬株ノ總大正七年八月十日株主總會決議)並ニ決斷シ銀二萬五千圓(貳拾萬株)ヲ以テ增加株式拾四萬株ノ內同年九月十日株主總會決議ノ現在株主拾貳萬株ヲ割當テ殘數貳萬株ノ內千株ハ左ノ方法ニ依リ公賣ス

募集規定要項

集株數 壹萬貳千株

集金額 金六拾萬圓

込價格 額面以上ノ價格

口ノ申込株數 拾株以上

込證據金 二拾金貳圓五拾錢(第一第二)

立石一拓



上
毛谷村
廿六番角力
ばんすまふ

[illegible][illegible]

四、五〇
二五

南

門客

兼二浦線

一前七巴 病九西 熱三呂

七、四七

木江

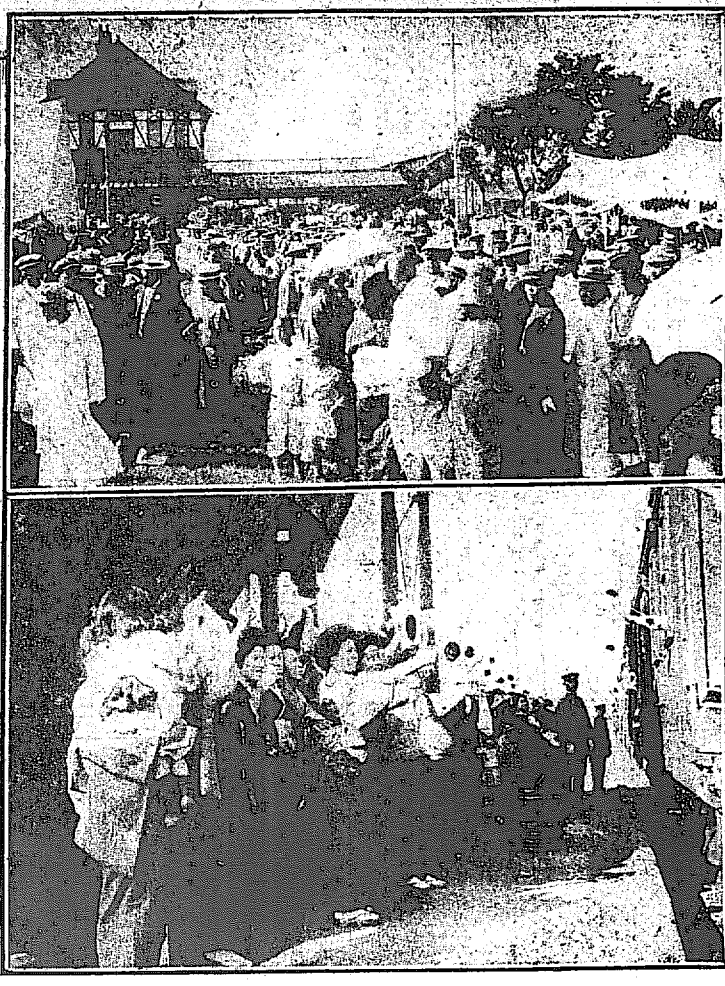
湖南線

一八三〇
一五五〇

御星圖
前八日 後二日
前五日 後一日



★龍山驛頭の出征兵歓迎の光景と婦人連發車間際に「萬歲」を和す○兵第○○○長○○○少將(左)



○萬歲聲裡

通過北行せる第三師團の精兵
龍山驛頭送迎者千餘名

○長○○○少將に奉られて

▽樟掛甲斐々々しく

婦人連と女學生團の活動

○本社の特刊品... 婦人連と女學生團の活動... 樟掛甲斐々々しく... 婦人連と女學生團の活動... 樟掛甲斐々々しく...

○滑稽な敵の河流

是許りには戦ひ乍ら噴き出した
イマン戦に傷いた二勇士の話

滑稽な敵の河流... 是許りには戦ひ乍ら噴き出した... イマン戦に傷いた二勇士の話... 滑稽な敵の河流... 是許りには戦ひ乍ら噴き出した... イマン戦に傷いた二勇士の話...

○醫者が見放した身體

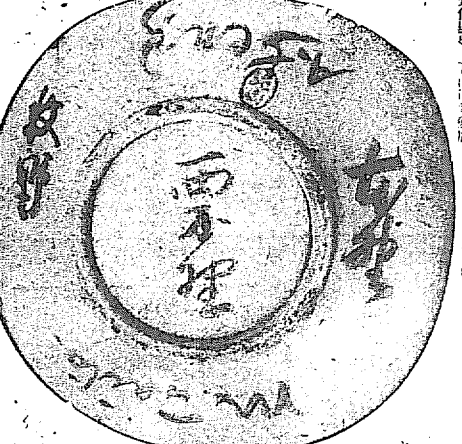
故本野子爵のこころ

醫者が見放した身體... 故本野子爵のこころ... 醫者が見放した身體... 故本野子爵のこころ...

△朝鮮の歓迎が嬉しい

吾々の任務は有る外交

朝鮮の歓迎が嬉しい... 吾々の任務は有る外交... 朝鮮の歓迎が嬉しい... 吾々の任務は有る外交...



Various small articles and news snippets, including mentions of '豫言者' (Prophet) and '日露事件' (Russo-Japanese Incident).

簿記通信教習

簿記通信教習... 簿記通信教習... 簿記通信教習...

銀鉛鑛 鑛石買入... 銀鉛鑛 鑛石買入... 銀鉛鑛 鑛石買入...

京城春川間自合乗車

京城春川間自合乗車... 京城春川間自合乗車...

酒井婦人病院

酒井婦人病院... 酒井婦人病院...

朝鮮病院

朝鮮病院... 朝鮮病院...

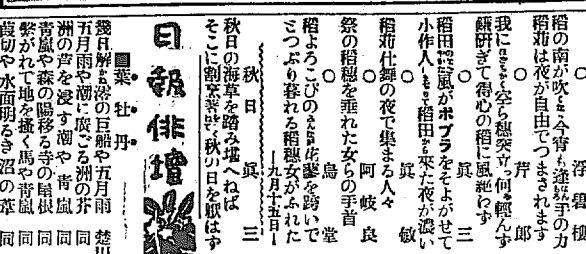
書あゝの心うまのこころ 九十五

の思になつて見なちや分るもんぢやありませんかね。文盲は別へ長良さんには及びません。——何で二度さんか、思ふふくを立つて久さ再び此の婆を旦那を踏み込まぬやうにならざるへれば、それで此方の目的は達したぢやふもんですよ。」

「でも阿母様、何は何つて、妾からそんな醜態騒ぐた事が……」

「御子、切迫つて、筆と紙さへをもちながら、只なるく震え、わななくのうであら。云ふまでもなく、涙はよく親戚の海の水落もすばかりに雨風から溢れる」

子規忌俳三昧夜
一虎虎の宵生輝が巻語を添へる

[illegible][illegible]

「さういふ事案ふであつて、是れは、社員の
調達の一種に外ならぬ人の前て
」遠慮會釋なく、渠を
吐いた。陳家に迷惑の懸るのを汚
水を非難するを聞き無に施した
の由を、蓋を置いて置いたので
外に飛たして、所所の汲取口を開け
て不潔な水の出入飛散を顧みなかつ
た。道旁、驛さしたり、病氣、病患
に感ずる陳家や學友や出入の人
に驚かす。陳家の水桶の蓋を開け
放して、放水、乍ら水具を洗つたの
腐敗した低底盆を買つて、裏利を貪
つたり、蟻を捕かつたり、其外數へ
立てれば、腐敗、無いが奇くも是等
の非社員の分には、或意味に於ては、密
に蔽ひあるか。個人を調成で料か
にして、華大斯、個人を調成で料か
ければ、縱、如何なる患害なもの

新刊紹介 (到着順)

▲實業の世界 九月号 十八錢東京
勉有學町一ノ四廿社

▲自動車三號 二一五錢東京勉町内
幸町一ノ三帝自自動車保國協會出版部

▲正則中學講義錄(六卷) 合費一箇

人にも有らうけれども、食堂に必ず
雨露を凌げばよいと云うて、淋雨扇
で書いた鍋釜を床に据ゑて雪隠

鼻が
高くなる

隆鼻器無料貸與

人生の花で最も大切な物で幸


化と
げし
仁丹
三輪 両博士御
本舖 森下博

問

捷は商業の
り
ロステヤイルド)
く自己の價
(エン)

博士の賞讃と証明を
赤玉ホー
 らぬ用心には
 自薬に優る葡萄酒
 ワインを召上るにあり

有する
トワ
元明に道



三
寒

二 範模

ウソ 洗石 糞 糞肥 糞歌 主場
牛乳
丁四町來蓬城京
場牧亞東
二五 電話

